

# 島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	RS ウイルス急性細気管支炎に対するデキサメタゾンの有用性
意義・目的	RS ウイルス (Respiratory syncytial virus) は、乳幼児に急性細気管支を引き起こす最も重要なウイルスであり、重症化することがあります。しかし、これまで急性細気管支炎に対する有効な治療法は確立されていません。ステロイドのデキサメタゾンが RSV*1 細気管支炎患者の入院期間を短縮させるとの研究報告があり、今回、RSV 細気管支炎患者さんに対するデキサメタゾンの有用性を明らかにするのが目的です。 *1：RS ウイルス
研究期間	当院病院長許可日(利用開始日)2023年11月2日～2024年12月31日
対象患者	2014年1月1日～2022年3月31日の期間に当院小児科にRS ウイルス細気管支炎で入院された2歳未満の患者さん。
研究内容	電子カルテを利用し、RSV 細気管支炎で入院された患者さんを、デキサメタゾンを使用したグループと使用しなかったグループの2つのグループに分け、デキサメタゾンが有用かどうかを後方視的に検討します。その際、年齢、性別、発熱期間、血液検査、喘息の家族歴の影響も検討します。
利用する試料・情報の項目	研究対象者背景：識別コード、性別、生年月(or年齢)、人種、既往歴、現病歴 等
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり ( <input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 海外 ) 提供方法： <input checked="" type="checkbox"/> なし
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 平出 智裕  共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし  試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし

本研究に関する 当院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 小児科 平出 智裕 電話：0853-22-5111（代表）  事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL： <a href="https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy">https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy</a>
結果の公表	日本小児科学会等で発表し、論文化して公表予定です。
備考	